

## 前回資料からの主な変更点

番号	前回資料	中間案(素案)	変更点
1	(2) 社会とつながり貢献する力の育成 ②キャリア教育・職業教育の充実  (4)地域で学び地域を活かす教育の推進 ③産業界と連携した教育の推進	(2) 社会とつながり貢献する力の育成 ③ <u>キャリア教育の推進</u>  (4)地域で学び地域を活かす教育の推進 ③産業界と連携した <u>職業教育</u> の推進	重複感を解消するため構成を変更
2	—	P 2 ○本県は全国と比較して、第2次産業の就業者比率が 32.8%（全国：25.2%、平成 22 年国勢調査）と高いことなどから、本県の産業構造の特性や産業界のニーズも踏まえた職業教育に取り組んでいく必要がある。	記述の追加
3	骨子案 P 3 生徒一人ひとりに応じた教育の実現	P 5 <u>生命を大切に</u> する心を育み一人ひとりに応じた教育の実現	表題の変更
4	—	P 5 ○学校教育全体において、自他の生命を尊重する心や思いやりの心、規範意識などを育む教育に取り組む。また、一人ひとりの存在や思いが大切にされ、多様性を認め合う学校づくりを進める。	記述の追加 (推進会議意見の反映)
5	骨子案 P 3 ○いじめや暴力行為等の未然防止・早期発見・早期解決に努めるとともに、不登校の状況にある生徒へ適切な支援を行うなど、生徒が安心して学校生活を送れるよう取り組む。	P 5 ○「 <u>いじめは絶対に許さない</u> 」「 <u>子どもたちを徹底して守り通す</u> 」という覚悟をもって、いじめや暴力行為等の未然防止・早期発見・早期解決に努めるとともに、不登校の状況にある生徒へ適切な支援を行うなど、生徒が安心して学校生活を送れるよう取り組む。	記述の精査
6	新しい「学び」への変革	P 7 新しい <u>時代に求められる</u> 学びへの変革	表題の変更

番号	前回資料	中間案(素案)	変更点
7	<p>○基礎・基本となる学力の定着に加えて、習得・活用・探究という学習プロセスを展開し、「どのように学ぶか」という学びの質の転換や、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した教育を推進する。</p>	<p>P7</p> <p>○これからの社会で必要となる基礎的・基本的な知識・技能、協働して課題を解決していくための思考力・判断力・表現力等、リーダーシップやチームワーク、優しさや思いやりなどの人間性等を含めた資質・能力を育むため、生徒自らが深く考える学習や周囲と協力して課題を解決する活動等を取り入れた教育を推進する。</p> <p>○生徒が学ぶことに興味・関心を持ち、自分の将来と結びつけて学習に取り組む「主体的な学び」、生徒が他の生徒や教職員、地域の人と対話しながら、自分の考えを広げ深める「対話的な学び」、各教科等で得た知識や考え方を活用して問題解決等に向けて探究する「深い学び」の視点で、「どのように学ぶか」という学びの質を重視した教育に取り組む。</p> <p>○生徒が各教科等で身につけた力を基礎として、「総合的な学習の時間」や特別活動のなかで、教科横断的な学びや社会に参画する活動を取り入れることで、実社会のさまざまな場面で活用できる能力の育成を目指す。</p> <p>○将来への人生観の礎を築き、論理的に物事を考える土台となる力を養うため、読書や体験活動等を通じて、歴史や文学、科学、芸術等、さまざまな分野への関心を高め、幅広い視野や知識とともに、それらを統合して考える力を育む教育を推進する。</p>	記述の精査

番号	前回資料	中間案(素案)	変更点
8	○国際地学オリンピックで海外の生徒とともに調査・研究を行った経験を踏まえ、スーパーサイエンスハイスクール校や理数科設置校等を中心に、様々な課題に対して、自ら考え挑戦し未来を切り拓く力を育成するプログラムの研究・開発を進める。	P 7 ○国際地学オリンピックで海外の生徒とともに調査・研究を行った経験をふまえ、スーパーサイエンスハイスクール指定校や理数科設置校等を中心に、さまざまな課題に対して、自ら考え挑戦し未来を切り拓く力を育成するプログラムの研究・開発を進めるとともに、 <u>その成果を他の学校にも普及する。</u>	記述の精査 (推進会議意見の反映)
9	○全国高等学校総合体育大会(H30)、国民体育大会(H33)・全国障害者スポーツ大会(H33)の開催を絶好の機会と捉え、生徒の夢や希望を叶えることができるよう、運動部活動の活性化や競技力の向上を図る。そのため、指導者を対象とした研修会等をとおして指導力向上に取り組むとともに、運動部活動に必要な環境整備や全国大会等に出場する生徒への支援を行う。	P 8 ○全国高等学校総合体育大会(H30)、国民体育大会(H33)・全国障害者スポーツ大会(H33)の開催を絶好の機会と捉え、生徒の夢や希望を叶えることができるよう、部活動の活性化や競技力の向上を図る。そのため、指導者を対象とした研修会の実施や <u>地域のスポーツ指導者の活用</u> 、 <u>運動部活動に必要な環境整備</u> 、全国大会等に出場する生徒への支援を行う。	記述の精査 (推進会議意見の反映)
10	○福祉施設や幼稚園との交流、地域イベントへの協力などを通じて文化部活動を地域に広げることにより、地域に貢献するとともに、生徒の達成感や意欲を育む。	P 9 ○福祉施設や幼稚園との交流、地域イベントへの協力などを通じて文化部活動を地域に広げることにより、生徒の自己肯定感や意欲を高めるとともに、 <u>活動の経験を活かして、地域で主体的に活躍していく力を育む。</u>	記述の精査 (推進会議意見の反映)
11	—	P 9 ○労働や社会保障制度等に関する知識を身につけ、生涯にわたる自己の生き方や働き方について考える力を育むため、関係機関や団体等と連携して働く意義や、労働者の権利と義務等を学ぶ講座を拡充する。	取組の追加

番号	前回資料	中間案(素案)	変更点
12	○日本や郷土三重のこととグローバルなことの双方を相互的にとらえながら、異文化への理解を深めるとともに、リーダーシップやチームワークを発揮して価値観の異なる多様な人々と協働して課題を解決する力を育成する。	P10 ○日本や郷土三重のこととグローバルなことの双方を相互的にとらえながら、異文化への理解を深め、 <u>多様性を尊重する態度を育むとともに、リーダーシップやチームワークを発揮して価値観の異なる多様な人々と協働していく力を育成する。</u>	記述の精査 (推進会議意見の反映)
13	P6 ○地域や世界の課題を多様な人々と協働して決していくための基礎となる探究力、論理的思考力、課題解決能力の育成を目指した取組の充実や科目の開設など、理数教育の充実を図る。	P10 ○地域や世界の課題を多様な人々と協働して解決していくための基礎となる探究力、論理的思考力、 <u>課題解決能力や、地域の歴史や文化、産業に関する知識を身につけられるよう、ディベート、探究活動、フィールドワークなどを取り入れた教育活動の充実を図る。</u>	記述の精査
14	—	P10 ○将来に対する目的意識や学習意欲の向上につながるよう、生徒が企業や大学で活躍する卒業生から仕事や大学生活等について学ぶ機会の拡充と就職や職場定着の支援に係る外部人材等の効果的な活用を促進する。	取組の追加 (推進会議意見の反映)
15	○不登校傾向にある生徒に対する教育相談の充実を図るとともに、学習等の支援方法について検討を進める。	P11 ○不登校傾向にある生徒に対して <u>スクールカウンセラー等の活用や関係機関との連携など、教育相談体制の充実を図るとともに、生徒一人ひとりの状況に応じた学習支援の方法について検討する。</u>	記述の精査 (推進会議意見の反映)
16	○特別な支援を必要とする生徒に適切な支援ができるよう、特別支援学校や医療・福祉等の関係機関等との連携を推進する。	P12 ○特別な支援を必要とする生徒に適切な支援ができるよう、 <u>特別支援コーディネーターを中心とした支援体制の充実を図るとともに、特別支援学校や医療・福祉等の関係機関との連携を推進する。</u>	記述の精査

番号	前回資料	中間案(素案)	変更点
17	—	P14 ○地域の課題解決や活性化に取り組む県内外の高校生が集う「高校生地域創造サミット(仮称)」を実施し、発表やディスカッションを通じて、生徒が自らの取組の良さや改善点を認識することにより、自信や意欲の向上を図る。	取組の追加
18	—	P14 ○スーパーサイエンスハイスクール指定校における課外授業や部活動に、中学生が参加し発展的な学習や研究に触れる機会を設けるなど、中学校と高等学校の学習内容の接続を図り、生徒の学びを継続・深化させるための取組を検討する。	取組の追加
19	○本県の「ものづくり」や「食」の強みを生かし、関連企業と協働した商品・製品開発等の企画提案や6次産業化の取組等、実際の企業活動を体験することを通じて、現実の経済活動や実務を理解するとともに、チャレンジ精神や起業家精神を醸成する。 ○「おもてなし」の心を高校生に育み、必要となる知識や技能を学ぶため、県内のホテルや旅行代理店、観光協会、調理・観光ビジネス等の専門学校と連携して、生徒がホテルやツーリズムを企画・運営する取組を検討する。 ○職業学科の生徒と教員による企業を設立し、実際の起業や企業経営に関する学習を進める。また、学校が地域の企業等とのネットワークを構築することにより、創造的なものづくりやアイデアを実現するノウハウを学ぶ機会を創出する。	P14 ○ものづくりや経営、おもてなしの心や起業家精神等、産業社会で必要となるさまざまな要素を学ぶため、学校が地域産業とのコンソーシアムを設立し、商品企画や製造、接客、営業等の現場を生徒が体験する機会を創出する。	記述の精査

番号	前回資料	中間案(素案)	変更点
20	<p>○工業高等学校に専攻科を設置し、地域の企業と連携しインターンシップやデュアルシステムを通じて実践的な知識や技能・技術の定着を図り、地域産業を牽引する技術者を育成する。</p> <p>○地域・産業界等とともにコンソーシアムを設立し、産業界からの講師派遣や企業の持つ設備等を活用した学習環境の構築を推進する。</p>	<p>P14</p> <p>○地域産業を牽引する技術者を育成するため、工業高等学校に専攻科を設置し、地域の企業との連携のもと、デュアルシステムなどを通じて実践的な知識・技能や技術の定着を図る。そのため、地域・産業界等とともにネットワークを構築し、産業界からの講師派遣や企業の持つ設備等を活用した学習環境の構築を推進する。</p>	記述の精査
21	—	<p>P15</p> <p>○教員の指導力向上につながるよう、教職大学院等との連携を推進し、大学教員の学校訪問等を通じて、最新の教育理論や実践例に触れる機会を創出する。</p>	取組の追加 (推進会議意見の反映)
22	—	<p>P16</p> <p>○教育委員会と教員養成を行う大学等で構成する協議会を設置し、教員養成や教員研修等について協議を行うことにより、教員の資質向上に取り組む。</p>	取組の追加 (推進会議意見の反映)
23	<p>骨子案P10～11</p> <p>5 社会の変化に対応した県立高等学校のあり方</p> <p>(1) 各学科の活性化の現状と課題</p> <p>(2) 県立高等学校の規模と配置について</p> <p>①基本的な考え方 (略)</p> <p>②高等学校の規模と配置 (略)</p>	<p>P17～22</p> <p>5 社会の変化に対応した県立高等学校のあり方</p> <p>(1) <u>各学科の活性化</u></p> <p>①<u>現状と課題</u> (略)</p> <p>②<u>各学科の活性化の方向性</u> (略)</p> <p>(2) 県立高等学校の規模と配置について</p> <p>①基本的な考え方 (略)</p> <p>②高等学校の規模と配置 (略)</p>	全文追加